

グラフでみる加工食品の 生産・販売・外食等の指標



目 次

< グラフでみる "コロナショック" >

1. 加工食品の生産動向
2. 食品卸売業・食品小売業
3. 外食産業
4. 食料品の物価

< 今月のトピック >

食品製造業の労働生産性 その2



1 加工食品の生産動向 <グラフでみる"コロナショック">

食品需給研究センターでは、食品製造業の月次生産動向について、調査・分析業務（農林水産省「食品産業動態調査」）として実施しています。

ここでは、加工食品の調査対象のうち、特に今般の新型コロナウイルス感染症の影響が大きい品目の生産動向（増減率、速報値）についてとりあげます。

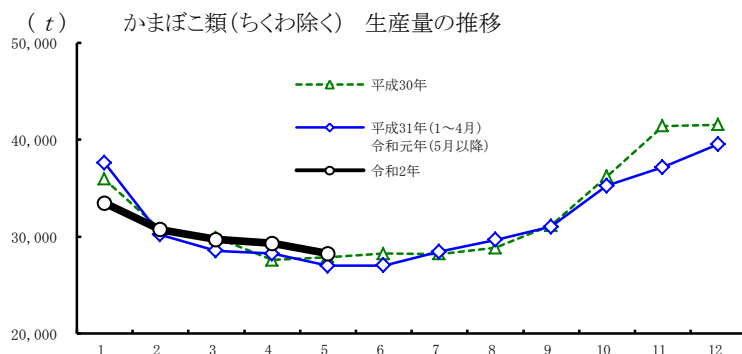
なお、詳細は、<http://www.fmric.or.jp/stat/stat.html#seizou>

「食品製造業の生産動向」をご覧ください。

○ かまぼこ類

生産量 対前年同月比

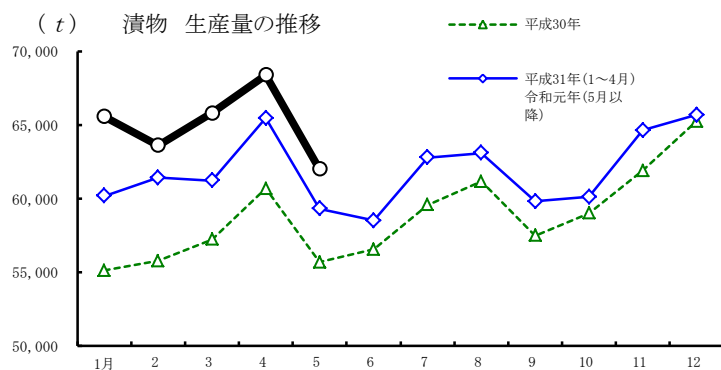
5月 4.7% 増加



○ 漬物

生産量 対前年同月比

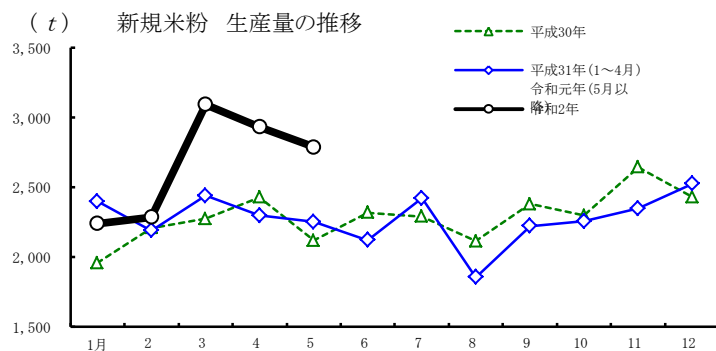
5月 4.6% 増加



○ 新規米粉

生産量 対前年同月比

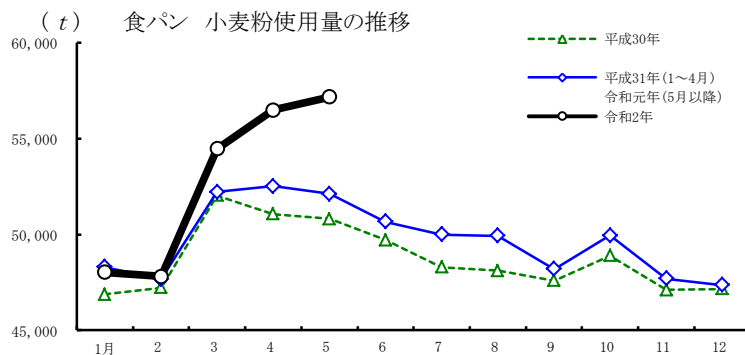
5月 23.8% 増加



○ 食パン

小麦粉使用量 対前年同月比

5月 9.7% 増加

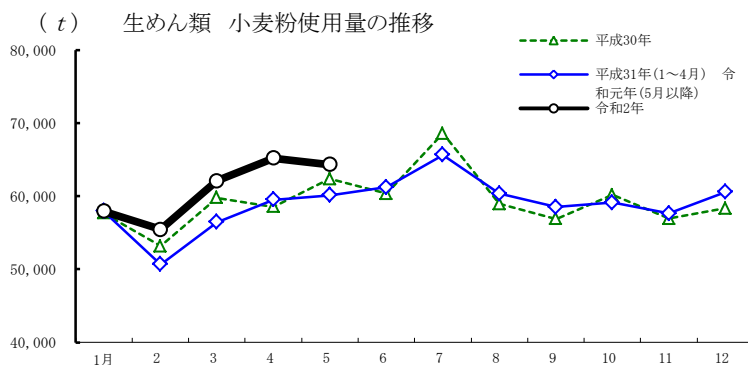


1 加工食品の生産動向 <グラフでみる"コロナショック">

○ 生めん類

小麦粉使用量 対前年同月比

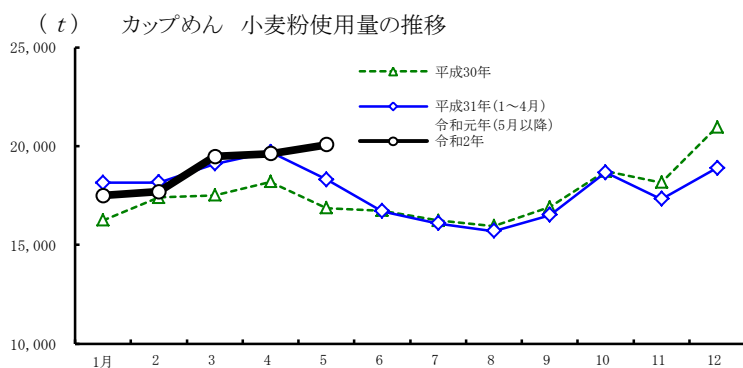
5月 7.0% 増加



○ カップめん

小麦粉使用量 対前年同月比

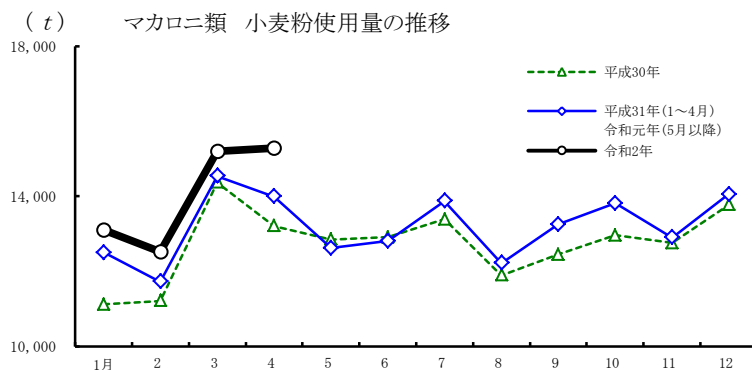
5月 9.6% 増加



○ マカロニ類

小麦粉使用量 対前年同月比

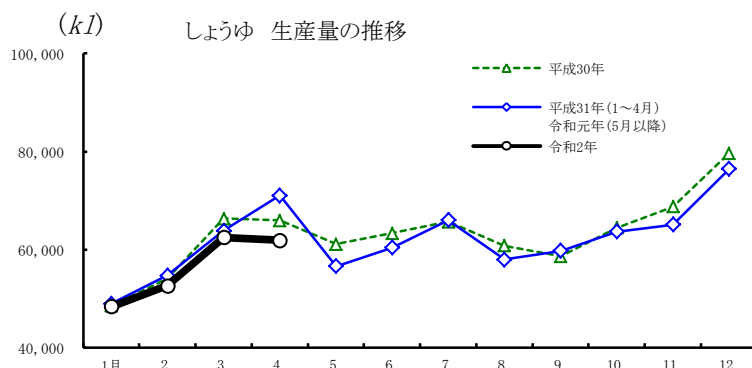
5月 11.5% 増加



○ しょうゆ

生産量 対前年同月比

4月 12.9% 減少

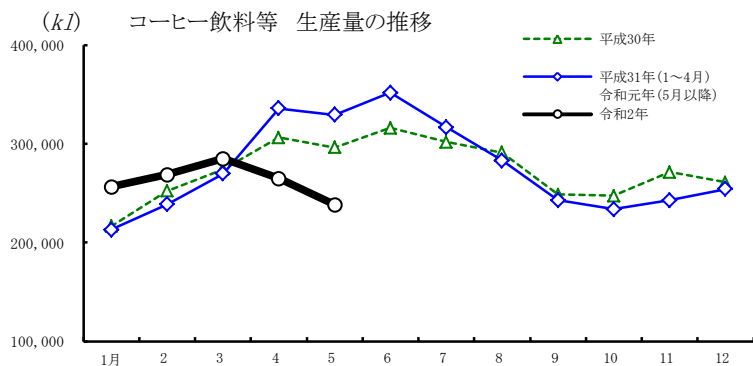


1 加工食品の生産動向 <グラフでみる"コロナショック">

○ コーヒー飲料等

生産量 対前年同月比

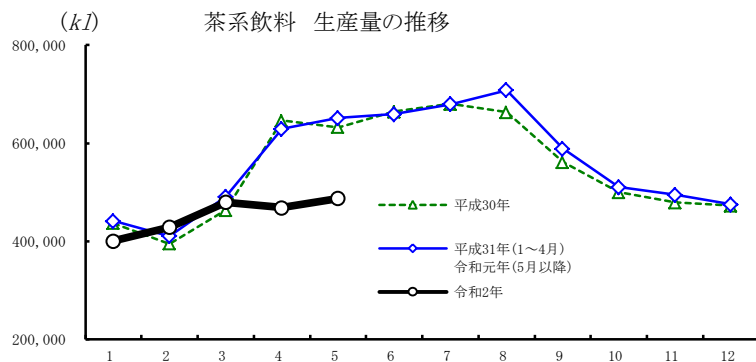
5月 27.7% 減少



○ 茶系飲料等

生産量 対前年同月比

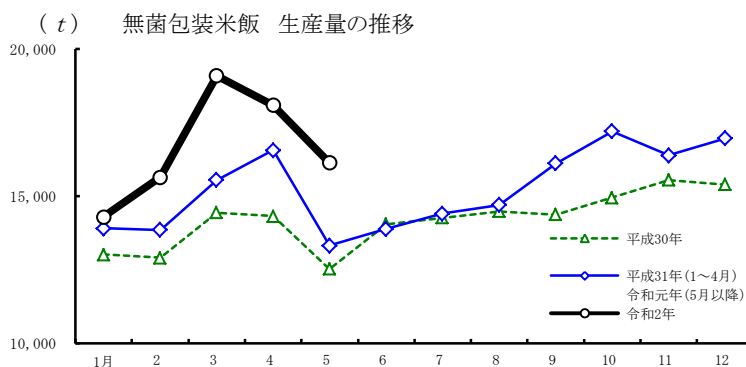
5月 25.2% 減少



○ 無菌包装米飯

生産量 対前年同月比

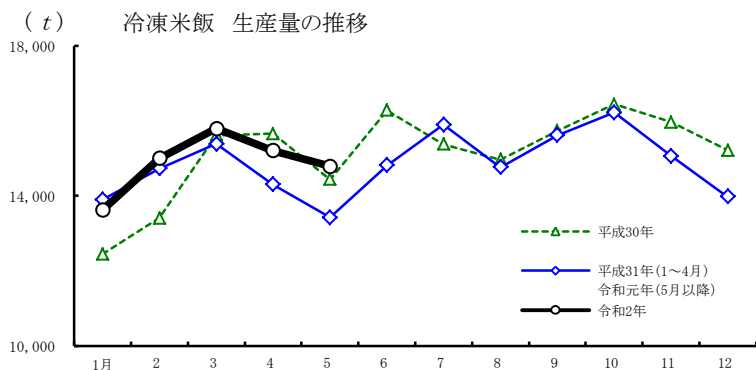
5月 21.2% 増加



○ 冷凍米飯

生産量 対前年同月比

5月 10.2% 増加



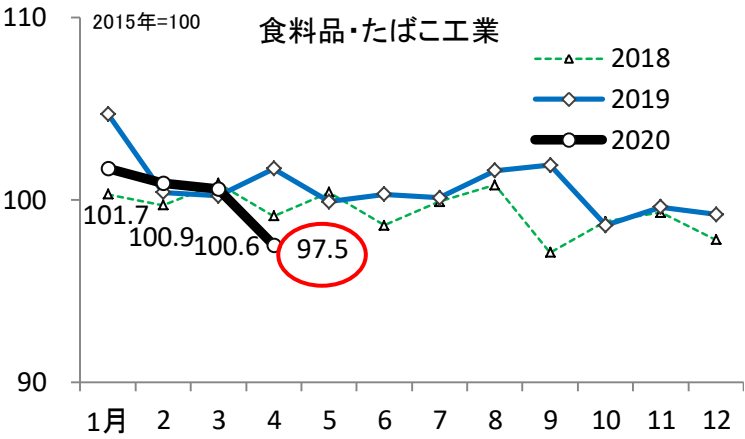
<参考> 食料品・たばこ工業の生産動向
(経済産業省「鉱工業生産指数」より)

○ 食料品・たばこ工業

生産指数 対前年同月比

4月 4.1% 減少

※経済産業省「鉱工業生産指数」は、鉱工業製品を生産する国内の事業所における生産、出荷、在庫に係る諸活動の統計。食品製造業の月次の生産動向について、みることができます。



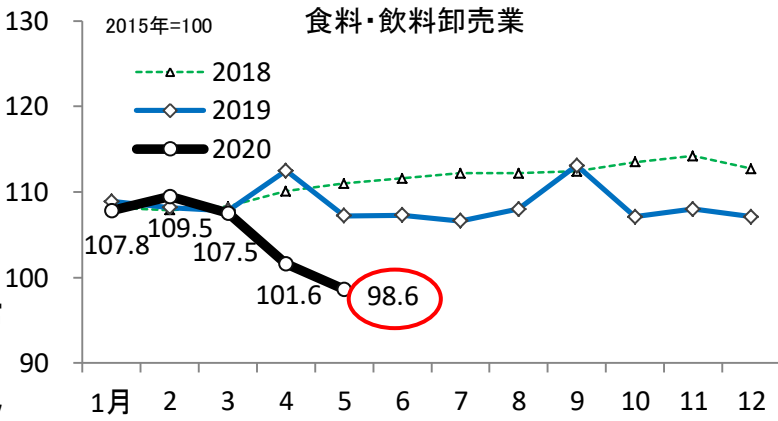
2. 食品卸売業・食品小売業 <グラフでみる"コロナショック">

○ 食料・飲料卸売業

売上高 対前年同月比

5月 8.0% 減少

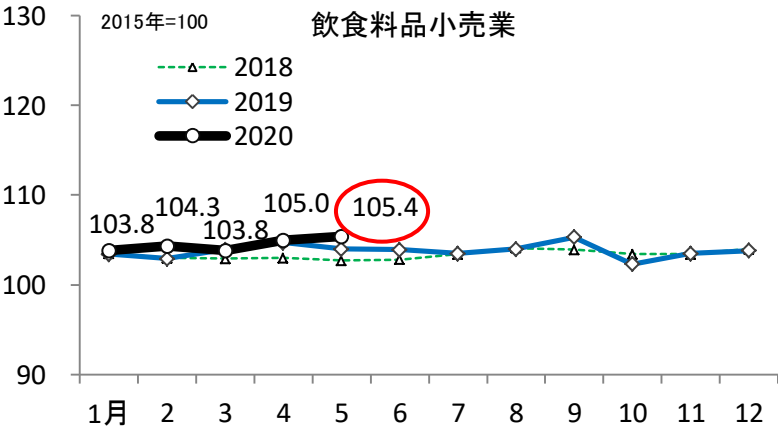
経済産業省「商業販売統計」は、全国の商業を営む事業所及び企業の販売活動の統計。具体的には、卸売業、小売業及び小売業の業態別（スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の飲食料品都等の売上高（月次速報）について、みることができます。（以下、続きます。）



○ 飲食料品小売業

売上高 対前年同月比

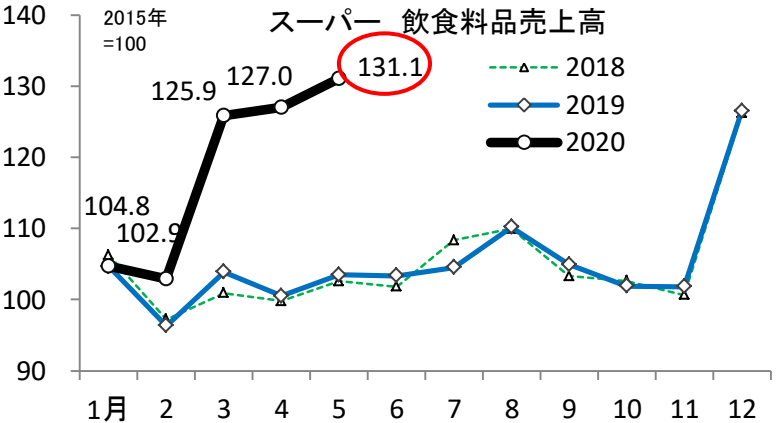
5月 1.3% 増加



○ スーパー

飲食料品売上高 対前年同月比

5月 26.7% 増加

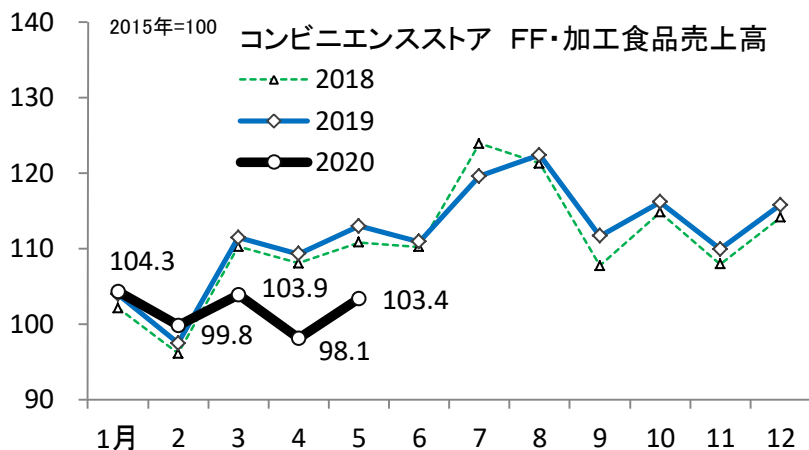


2. 食品卸売業・食品小売業 <グラフでみる"コロナショック">

○ コンビニエンスストア

FF・加工食品売上高 対前年同月比

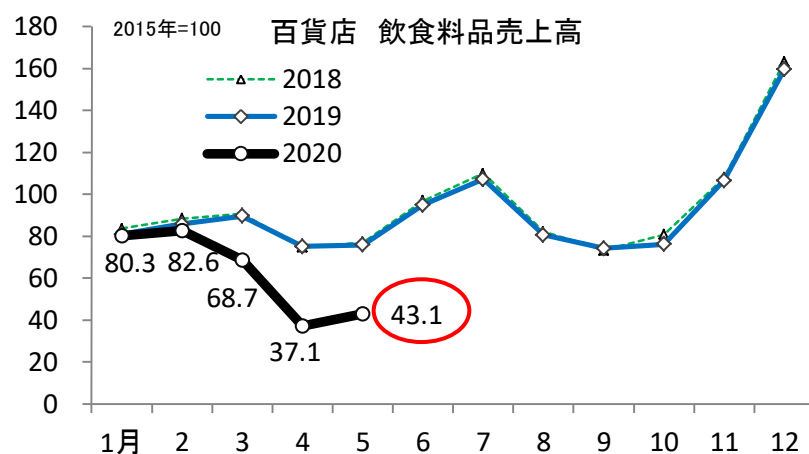
5月 8.5% 減少



○ 百貨店

飲食料品売上高 対前年同月比

5月 43.1% 減少



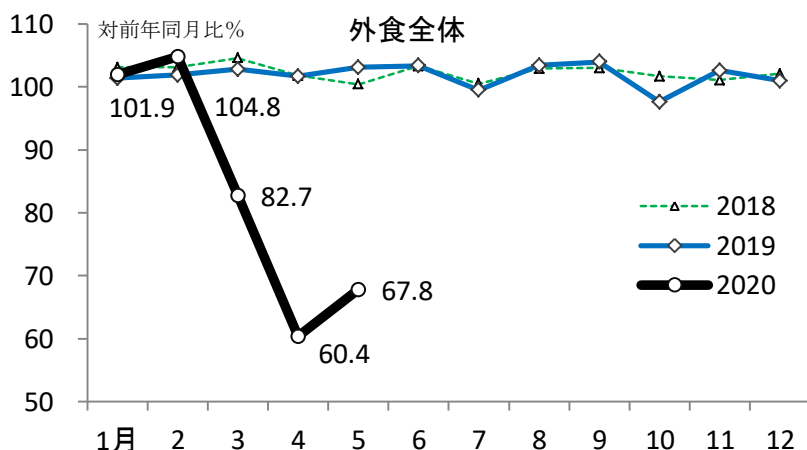
3. 外食産業 <グラフでみる"コロナショック">

一般社団法人日本フードサービス協会の「外食産業市場動向調査」は、外食チェーン企業203社約3万9千店の売上高等についての業態別の統計。直近の売上動向がわかります。
(以下、続きます。)

○ 外食全体

全店売上高 対前年同月比

5月 32.2% 減少

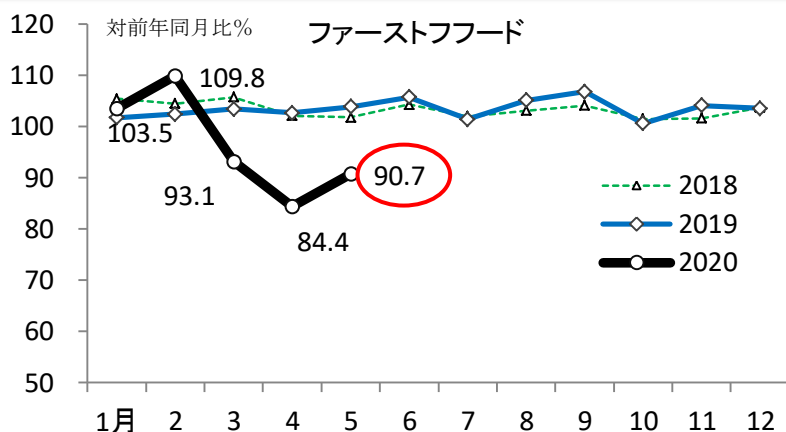


3. 外食産業 <グラフでみる"コロナショック">

○ ファーストフード

全店売上高 対前年同月比

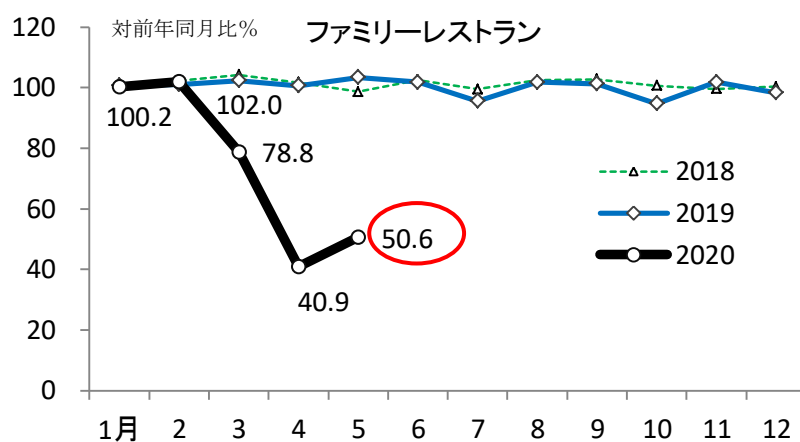
5月 9.3% 減少



○ ファミリーレストラン

全店売上高 対前年同月比

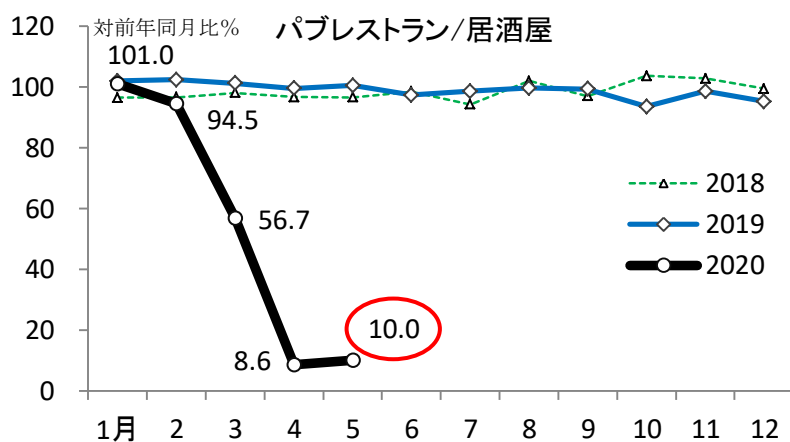
5月 49.4% 減少



○ パブレストラン/居酒屋

全店売上高 対前年同月比

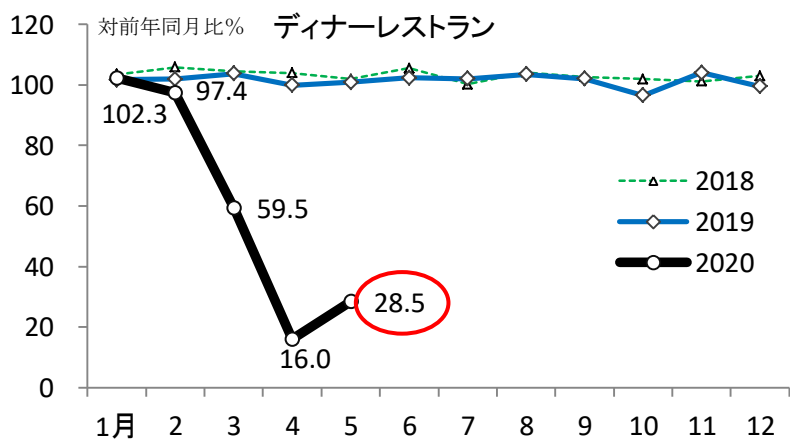
5月 90.0% 減少



○ ディナーレストラン

全店売上高 対前年同月比

5月 71.5% 減少

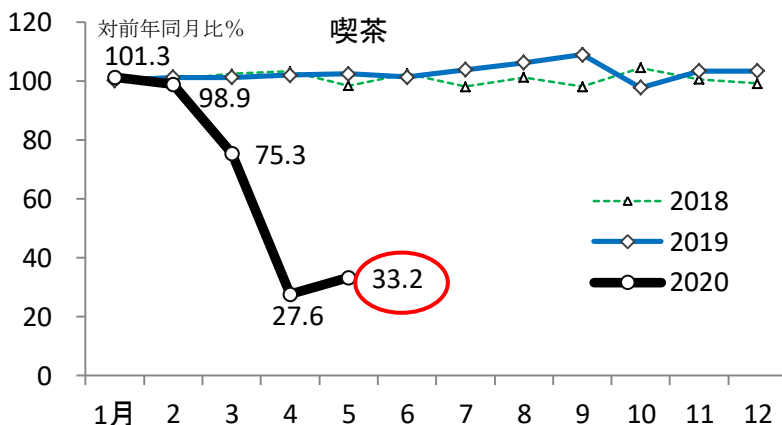


3. 外食産業 <グラフでみる"コロナショック">

○ 喫茶

全店売上高 対前年同月比

5月 66.8% 減少



4. 食料品の物価

○ 企業物価指数

企業物価指数は、企業間で取引される品質を固定した商品（財）の価格を継続的に調査し、現在時点の価格を、基準時点（2015年）の価格を100として、指数化したもの。

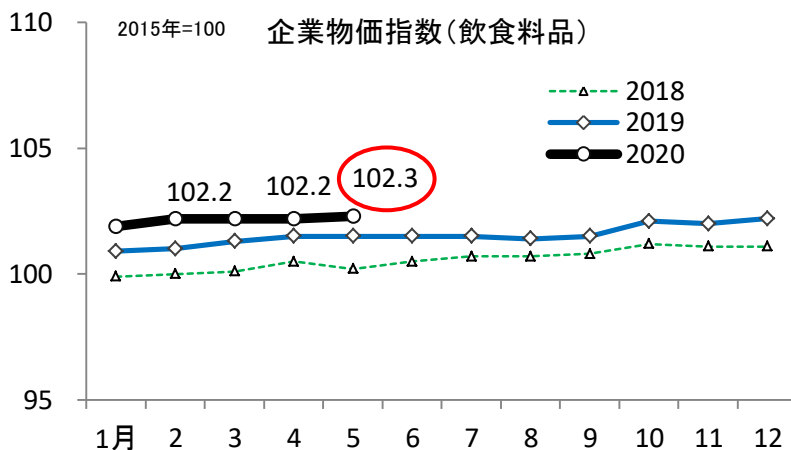
このうち、食品製造業（飲食料品）の出荷販売価格について、みることができます。

資料：日本銀行「企業物価指数」

○ 企業物価指数 （飲食料品）

飲食料品 対前年同月比

5月 0.8% 上昇



○ 消費者物価指数

消費者物価指数は、全国の世帯が購入する財及びサービスの価格変動を総合的に測定し、物価の変動を時系列的に測定するもの。

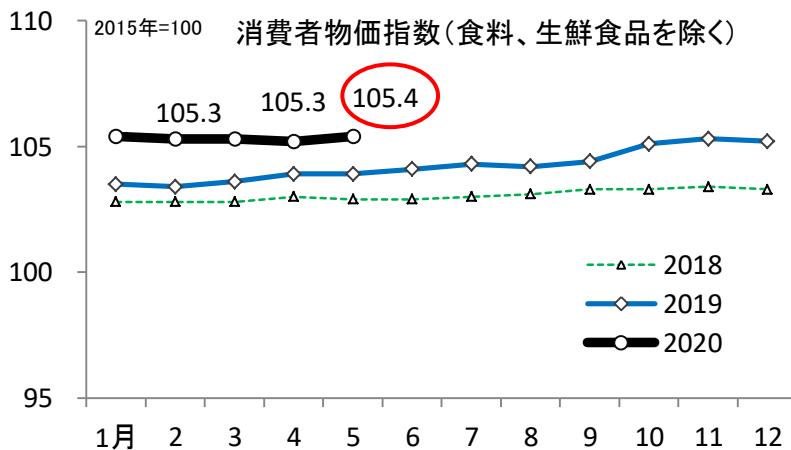
このうち、食料（生鮮食品を除く）について、みることができます。

資料：総務省「消費者物価指数」

○ 消費者物価指数 （食料、生鮮食品を除く）

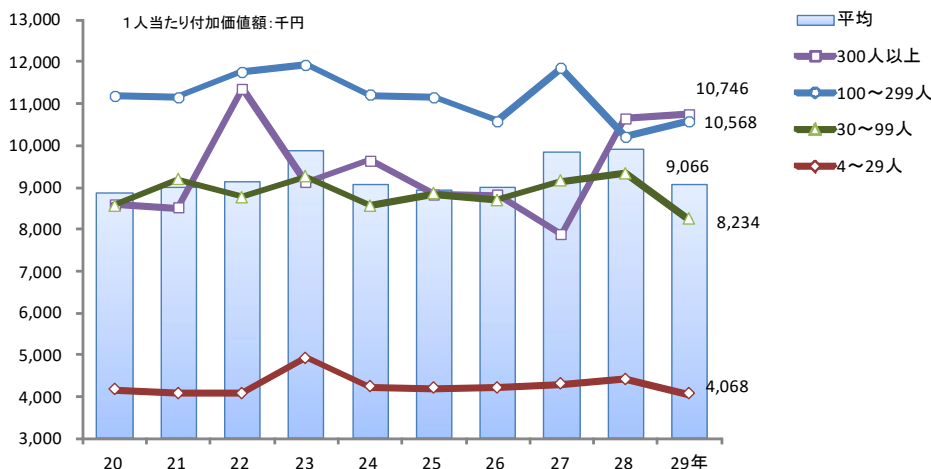
食料 対前年同月比

5月 1.4% 上昇



(3) 食品製造業の労働生産性 つづき

図 食品製造業の生産性の推移「従業者規模別」



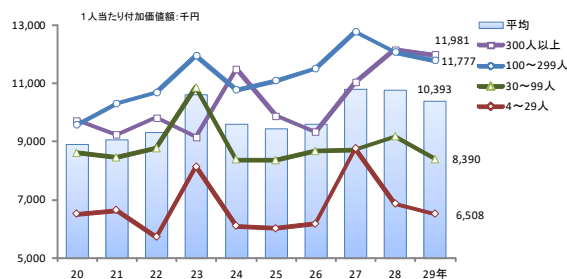
資料：経済産業省「工業統計」、「経済センサス活動調査」より作成

食品製造業の業種別にみた労働生産性は、総じて、酒類、清涼飲料、糖類、動植物油脂など設備投資型の製造業ほど高い

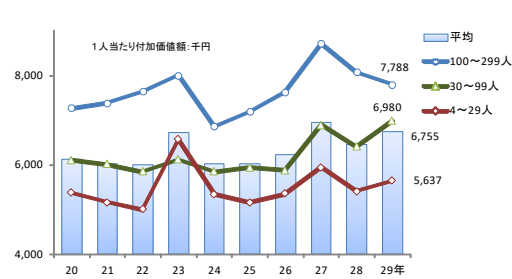
食品製造業の労働生産性は、業種別により差異がみられる。平成 29 年は、酒類製造業、清涼飲料製造業、糖類製造業、動植物油脂製造業、精穀・製粉製造業、調味料製造業、畜産食料品製造業等の順で高くなっている。設備投資型で工場の規模が比較的大きい製造業主体となっている業種が高い傾向にある。

図 食品製造業の労働生産性の推移「業種別・従業者規模別」

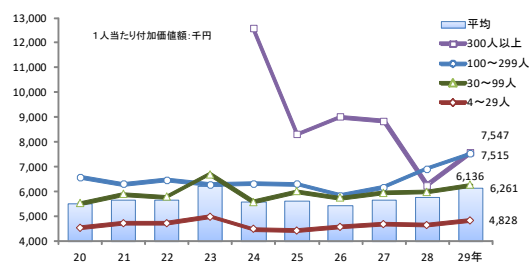
畜産食料品製造業



水産食料品製造業



野菜缶詰・果実缶詰・農産保存食料品製造業



調味料製造業

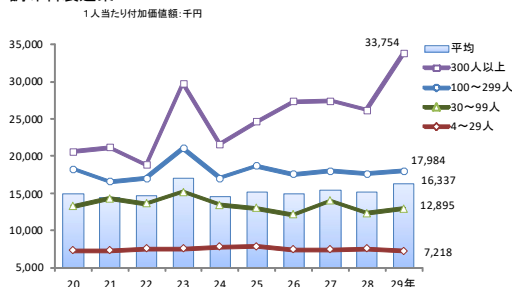
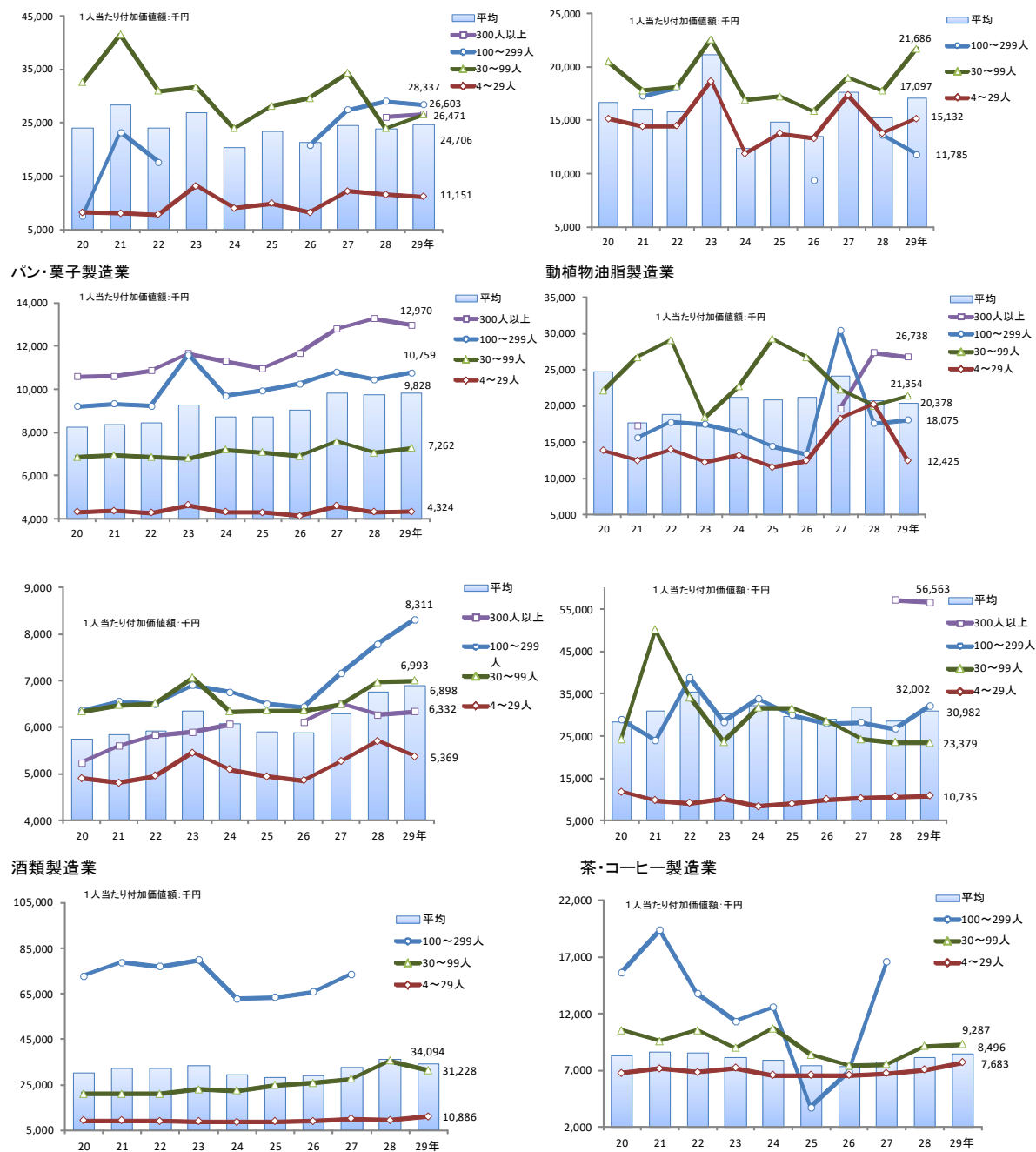


図 つづき 食品製造業の労働生産性の推移「業種別・従業者規模別」



資料：経済産業省「工業統計」、「経済センサス-活動調査」より作成